

高知工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	生産工学特論
科目基礎情報						
科目番号	6203			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建設工学専攻			対象学年	専2	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	教科書：人見勝人「入門編 生産システム工学」共立出版					
担当教員						
到達目標						
生産における物の流れの考え方を理解できる。 生産における情報の流れの考え方を理解できる。 生産における原価の流れの考え方を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	生産における物の流れの考え方を 実践で活かすことができる		生産における物の流れの考え方を 理解できる		生産における物の流れの考え方を 理解できない	
評価項目2	生産における情報の流れの考え方を 実践で活かすことができる		生産における情報の流れの考え方を 理解できる		生産における情報の流れの考え方を 理解できない	
評価項目3	生産における原価の流れの考え方を 実践で活かすことができる		生産における原価の流れの考え方を 理解できる		生産における原価の流れの考え方を 理解できない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (D) JABEE評価 基準1(2) (d)(3)						
教育方法等						
概要	この科目は企業で生産設計に従事していた教員が、その経験を活かし、生産システムの基本的考え方、製品を高効率・経済的に生産するための考え方を解説する、講義形式の授業である。社会で幅広く活用できる能力を養成する。					
授業の進め方・方法	教科書に従って、講義形式で進める。					
注意点	技術者が身につけるべき基礎知識として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。具体的には、試験の成績を70%、平素の学習状況等（課題・小テスト・レポート等を含む）を30%の割合で総合的に評価する。学年の評価は前学期中間と前学期末の各期間の評価の平均とする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	生産システム、生産形態などについて学ぶ。	生産システム、生産形態を理解する。		
		2週	製品設計について学ぶ。	製品設計を理解する。		
		3週	工程計画について学ぶ。	工程計画を理解する。		
		4週	工程計画について学ぶ。	工程計画を理解する。		
		5週	レイアウト設計について学ぶ。	レイアウト設計を理解する。		
		6週	生産計画について学ぶ。	生産計画を理解する。		
		7週	生産計画について学ぶ。	生産計画を理解する。		
		8週	生産スケジューリングについて学ぶ。	生産スケジューリングを理解する。		
	4thQ	9週	生産スケジューリングについて学ぶ。	生産スケジューリングを理解する。		
		10週	在庫管理について学ぶ。	在庫管理を理解する。		
		11週	生産統制について学ぶ。	生産統制を理解する。		
		12週	生産の価値システムについて学ぶ。	生産の価値システムを理解する。		
		13週	生産の情報システムについて学ぶ。	生産の情報システムを理解する。		
		14週	生産の情報システムについて学ぶ。	生産の情報システムを理解する。		
		15週	生産の社会システムについて学ぶ。	生産の社会システムを理解する。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル 授業週
評価割合						
	定期試験		課題提出		合計	
総合評価割合	70		30		100	
基礎的能力	20		10		30	
専門的能力	40		10		50	
分野横断的能力	10		10		20	